
Daylight

美波可奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Daylight

【Nコード】

N4953Z

【作者名】

美波可奈

【あらすじ】

春加先輩が栄光をつかむまでの話

俺を呼ぶ声 1

「春加先輩。居ます？」

「ああ？」

俺がトントんと戸を叩くと。

いつもの不機嫌な声が聞こえた。

「ああ？じゃないですよ。

入りますからね。」

ここは今流行りのルームシェアの一室で。

俺と春加先輩とは高校時代からの付き合いで。

今は二人とも同じ芸能事務所の研修生で。

俺は裏方の音声とかそっちの方専攻で。

春加先輩は一応これでも真面目に俳優目指してた。

「…何してるんです？」

「…何なわけ？」

いきなり入ってきて。」

つてか春加先輩って俳優の素質ないんだよな。

俺はいつも思う。

「…何な訳ってあなたが言っただけでしょ？」

今日打ち合わせがあるって。

自分が台本読みあさると時間忘れるから声をかけて欲しいって。」

俺はいつもため息をつく。

だけど。
俺が唯一。

この人って素質があるかと思う瞬間がある。

それは。

「……!!」

悪い。マジ忘れてた!!
英里^{えいり}マジ助かったわ!!」

俺の苗字を呼ぶときの独特のイントネーションと声だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4953z/>

Daylight

2011年12月16日21時46分発行